

## 《教育長メッセージ 第1号》

### 『出会い』

はじめまして、伊藤 文康です。

私は、宮城県南三陸町志津川の生まれです。三陸の海の波の音を聞いて育ちました。私は、そこで、故郷の海と山に出会い、両親に出会い、家族に出会い、多くの友だちや大人たちに出会いました。

学生時代も教員になってからも、教育委員会に勤めても、先輩や同僚、後輩といった仲間に出会いました。そして、何より、多くの子どもたちに出会いました。

自分の一生で、いつ、だれに出会うかということは奇跡のような偶然ですが、まるで、空のうえから誰かがコントロールしていて、必然のようにも思えるのです。

今は、これまでを振り返って、素敵な出会いが次々とやってきたことに感謝しています。

今の私の色や形、思いや考え方、人としての持ち物は、多くの自然や人との出会いで成り立っています。そういう意味でも、私は、出会いに感謝しているのです。

さて、私は、子どもたちの「しあわせ」を願います。

その視点から言えば、どれだけ多くの人と出会えるか、どれだけ多くの自然に出会えるかが、子どもたちが「しあわせ」になるための大きな要因であると考えています。そして、できれば、その出会いは、笑顔や喜びの涙や美しいものであってほしいと思うのです。

そう考えると、教育の中味のひとつとして、子どもたちの数々の素敵な出会いを演出することが、私たち大人の役割なのではないでしょうか。

みなさんのこれまでの出会いを振り返ってみてください。

みなさんのこれからの出会いを想像してみてください。

子どもたちの素敵な出会いをみんなで支えましょう。

次回は、『学校』について、思いや考えをお伝えします。

